



2010年3月期 第2四半期 決算説明会

SMK株式会社

2009年10月29日

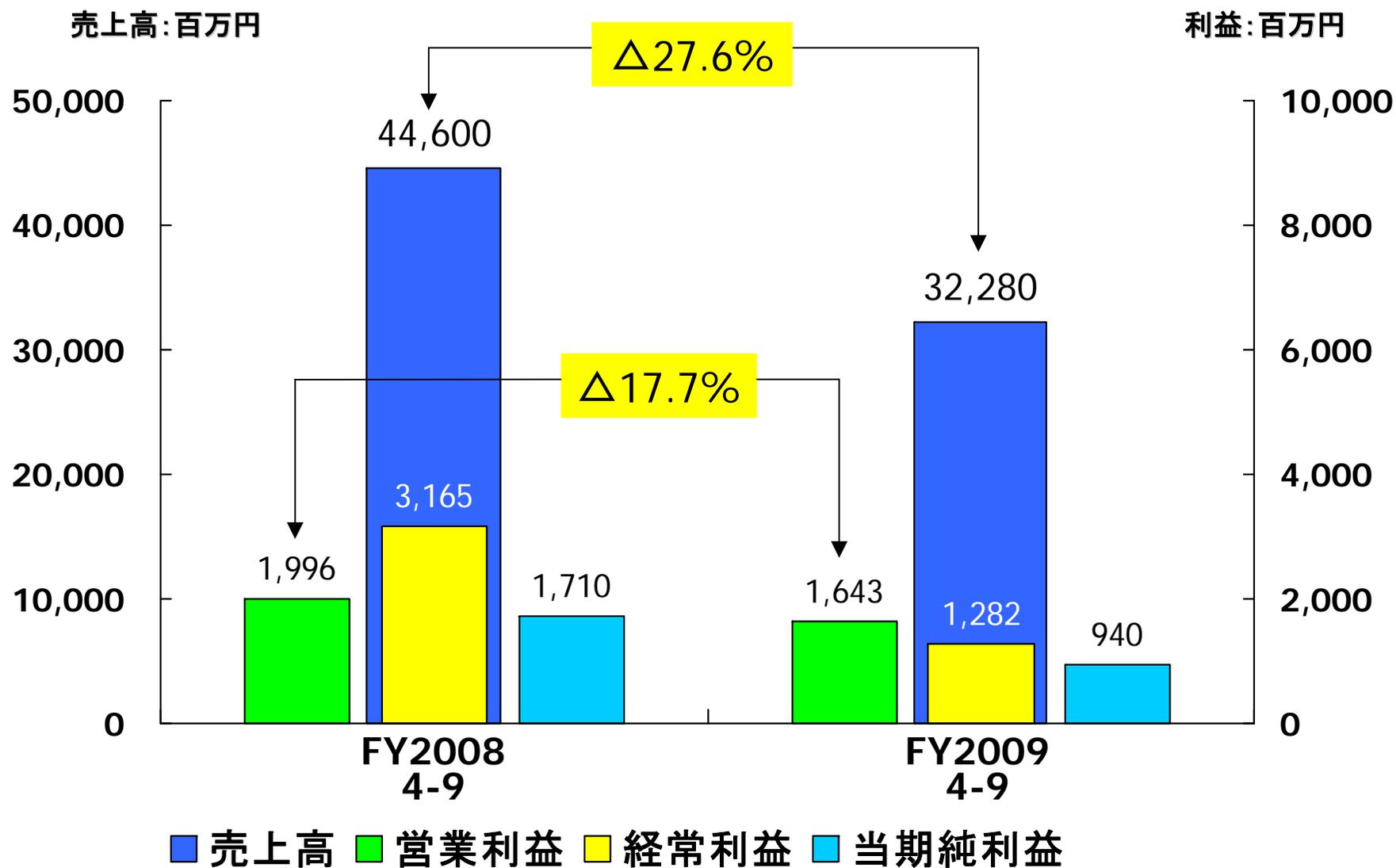


FY2009 第2四半期決算の概況

取締役 常務執行役員 山田 一



<連結> 第2四半期業績





<連結>業績推移(四半期別)

4/28

1. FY2009予想

(単位:百万円)

	上 期			下 期		通 期
	第1QTR (09/4~6) (実績)	第2QTR (09/7~9) (実績)	合 計 (09/4~9) (実績)	合 計 (09/10~10/3) (予想)		(09/4~10/3) (予想)
① 売上高 対前年比(%)	15,684 73.4	16,596 71.4	32,280 72.4	34,720 123.4		67,000 92.1
② 営業利益 対前年比(%)	706 66.2	937 100.9	1,643 82.3	1,757 -		3,400 -
③ 経常利益 対前年比(%)	706 33.0	576 56.3	1,282 40.5	2,018 -		3,300 320.7
④ 当期純利益 対前年比(%)	374 25.1	566 260.8	940 55.0	1,260 -		2,200 -

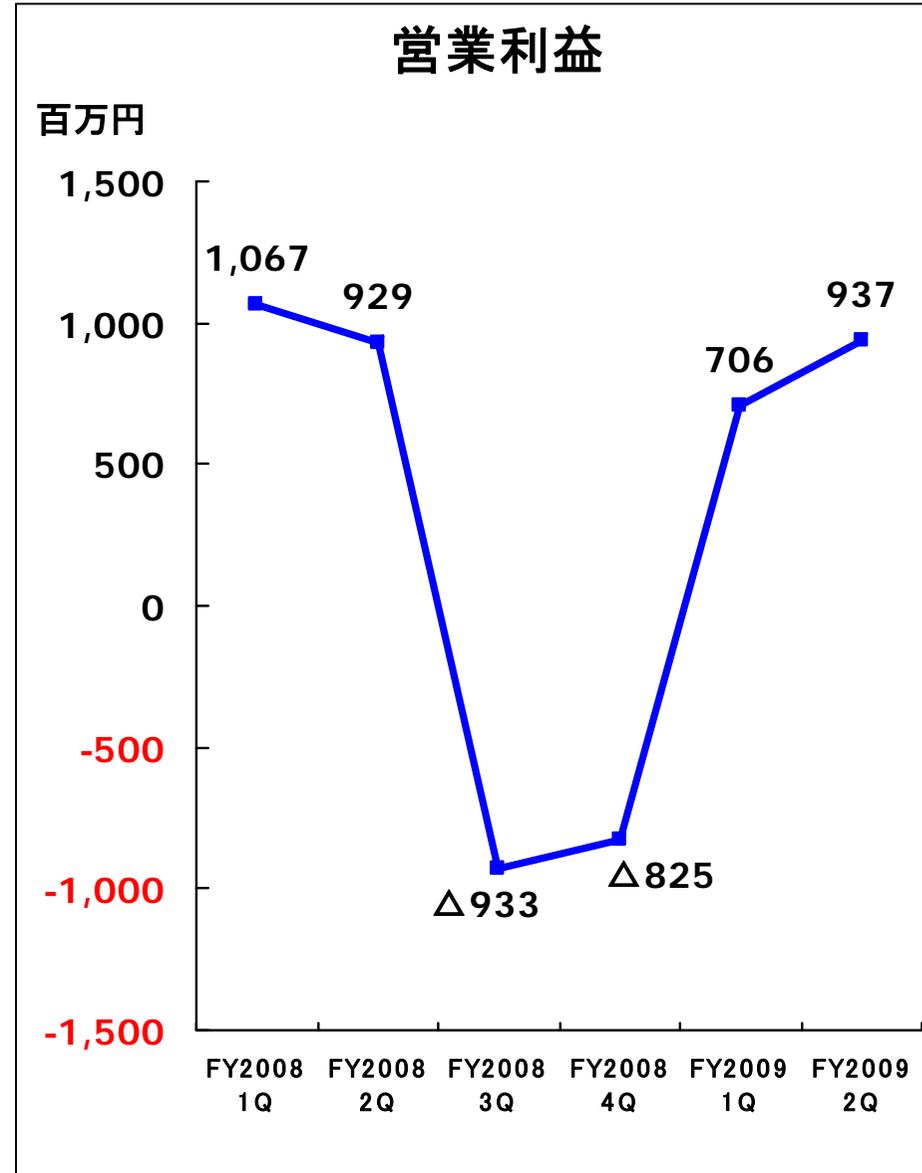
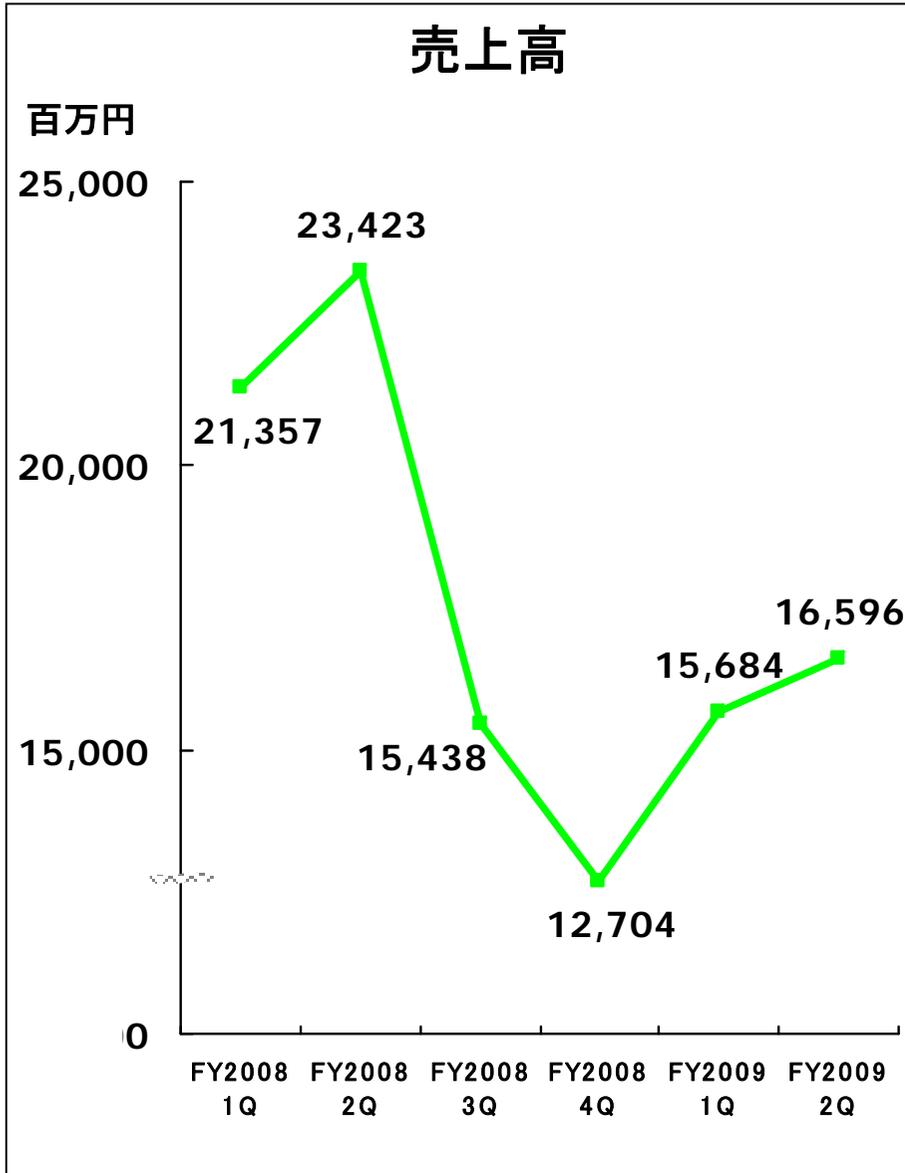
2. FY2008実績

(単位:百万円)

	上 期			下 期			通 期
	第1QTR (08/4~6)	第2QTR (08/7~9)	合 計 (08/4~9)	第3QTR (08/10~12)	第4QTR (09/1~3)	合 計 (08/10~09/3)	(08/4~09/3)
① 売上高 対前年比(%)	21,357 104.6	23,243 98.4	44,600 101.3	15,438 67.3	12,704 61.4	28,142 64.5	72,742 83.0
② 営業利益 対前年比(%)	1,067 62.1	929 44.5	1,996 52.4	△ 933 -	△ 825 -	△ 1,758 -	238 4.2
③ 経常利益 対前年比(%)	2,141 90.5	1,024 66.6	3,165 81.1	△ 1,464 -	△ 672 -	△ 2,136 -	1,029 23.8
④ 当期純利益 対前年比(%)	1,493 93.4	217 29.4	1,710 73.2	△ 2,037 -	△ 1,293 -	△ 3,330 -	△ 1,620 -

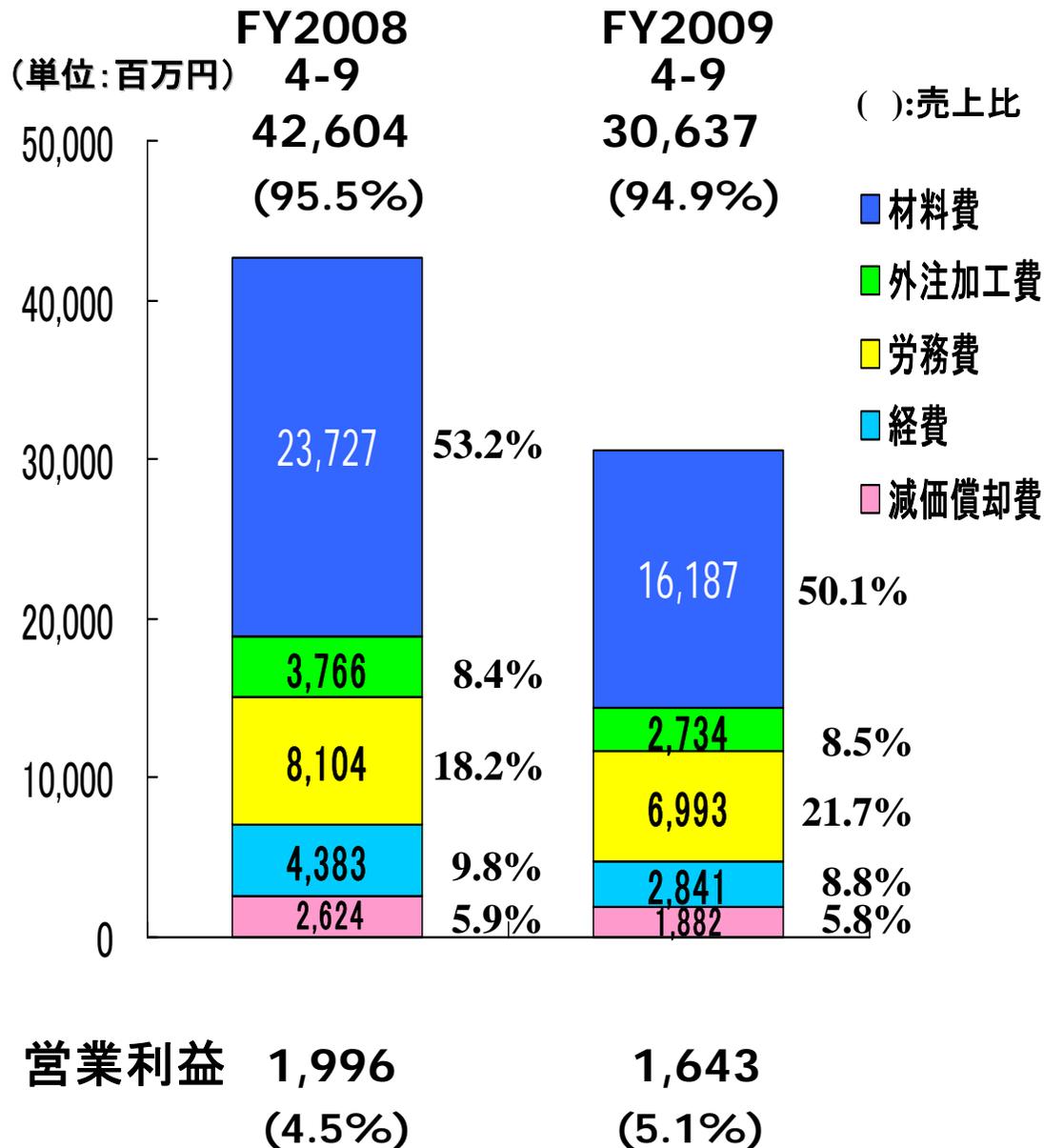


<連結>業績推移(四半期別)<売上高・営業利益>





<連結> 営業費用



〔(材料費+外注加工費)3.0%改善〕
61.6%→58.6% △977百万円

〔労務費 1,111百万円減少〕
海外事業所平均人員数
FY2008/4-9 13,400人 }
FY2009/4-9 10,900人 } △2,500人
減少工場:中国華南地区

〔経費 1,542百万円減少〕
日本: △885百万円
海外子会社: △657百万円

〔減価償却費 742百万円減少〕
日本: △701百万円
海外子会社: △41百万円

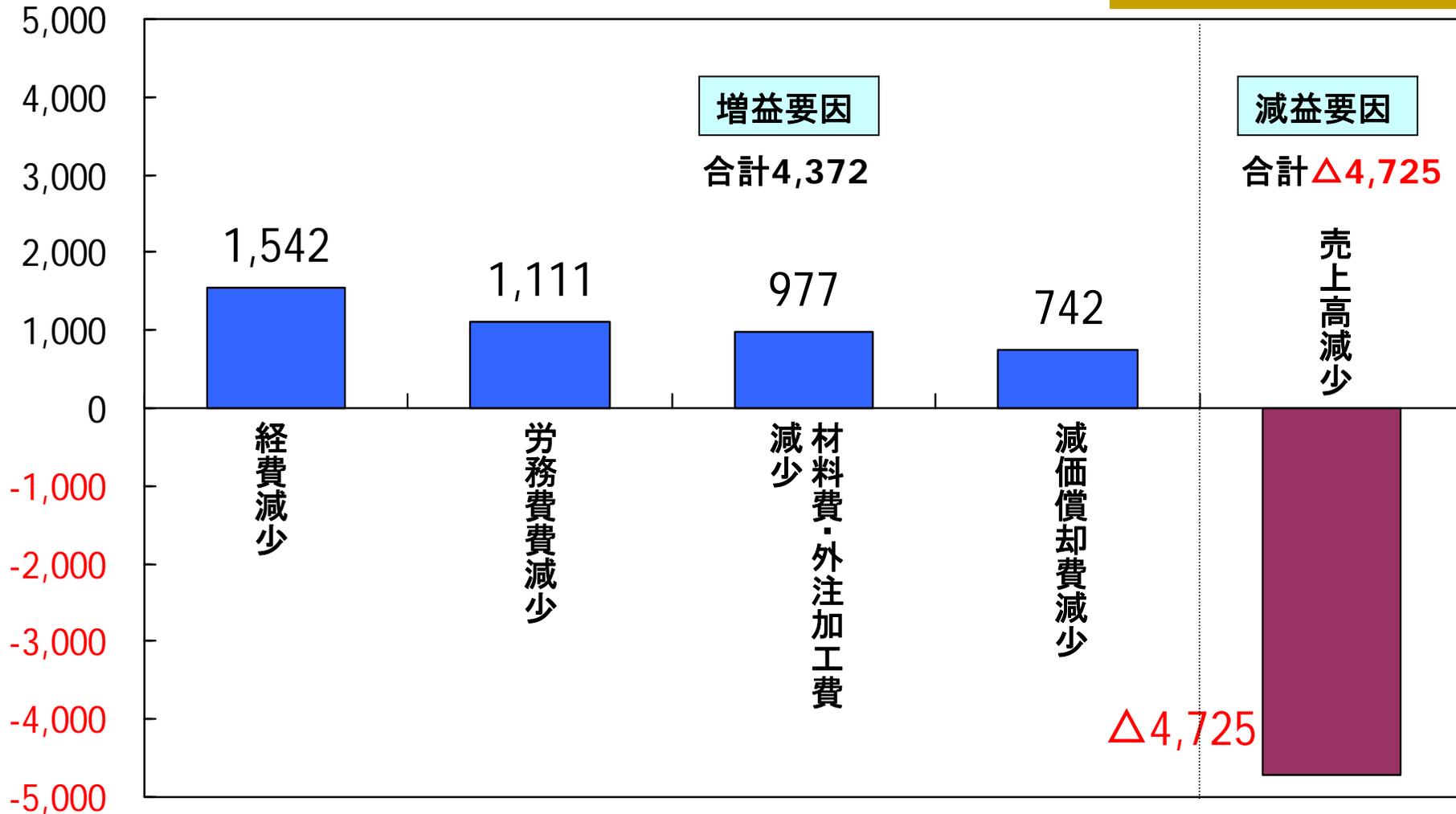


<連結> 営業費用分析

連結営業利益増減要因分析 [FY2008 4-9 対 FY2009 4-9]

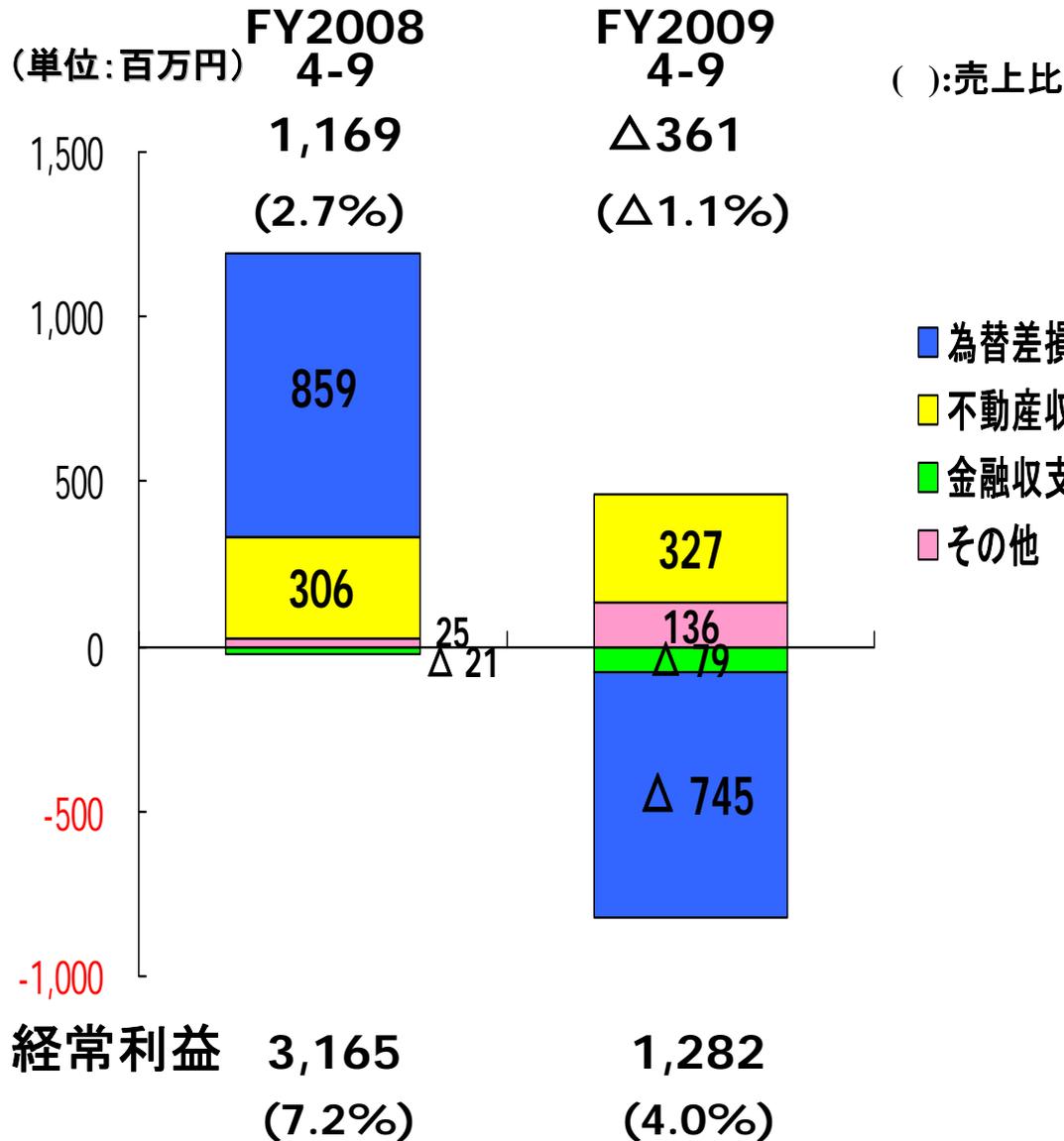
(単位:百万円)

Total
△353百万円





<連結> 営業外損益



為替差益⇒為替差損

(期中平均レート)・・・P/L換算

1. 前期

2Q平均(08/4-9) ¥105.95/\$

2. 当期

2Q平均(09/4-9) ¥95.45/\$

(期末レート)・・・債権・債務評価

1. 前期2Q

08/3 ¥100.19/\$

08/9 ¥103.57/\$ 3.38の円安

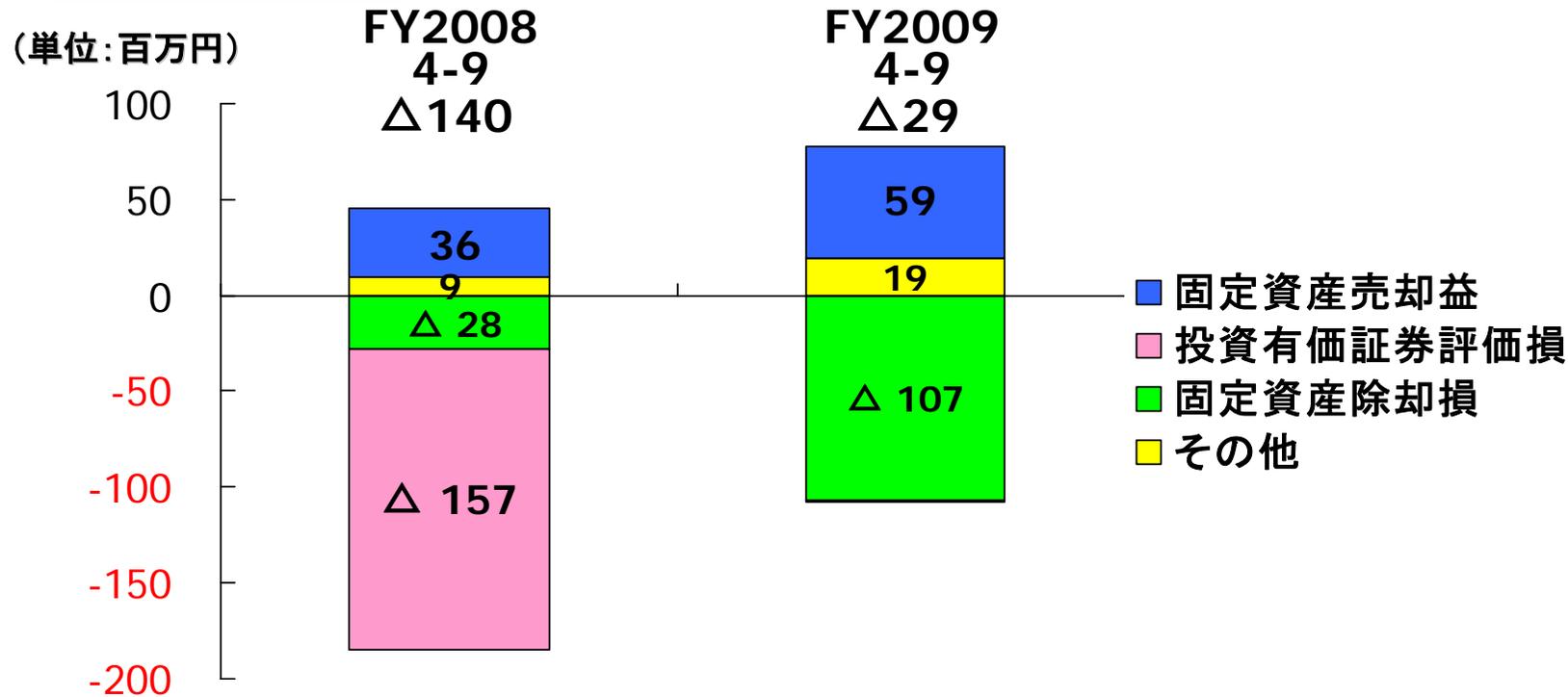
2. 当期2Q

09/3 ¥98.23/\$

09/9 ¥90.21/\$ 8.02の円高



<連結>特別損益



税引前利益	3,025	1,253
税金等(含税効果処理)	△1,315	△313
当期純利益	1,710	940
	(3.8%)	(2.9%)



<連結>財政状態

10/28

	2009/3 (A)	2009/9 (B)	増減 (B-A)
資産	58,168	56,930	△1,238
現預金	9,081	9,013	△68
受取手形及び売掛金	14,864	16,415	1,551
棚卸資産	6,235	5,626	△609
固定資産	23,865	22,622	△1,243
負債	29,088	27,227	△1,861
買掛金及び未払金	9,190	11,121	1,931
有利子負債	17,193	13,468	△3,725
純資産	29,079	29,703	624
資本金	7,996	7,996	—
自己資本比率	49.9%	52.0%	2.1%

(単位:百万円)



<連結> キャッシュ・フローの状況

11/28

(単位:百万円)

	FY2008 4-9	FY2009 4-9
営業キャッシュフロー	3,270	5,494
運転資金	△1,782	214
税引前利益	3,025	1,253
減価償却費	2,579	1,859
その他	△552	2,168
投資キャッシュフロー	△2,714	△1,160
フリーキャッシュフロー	556	4,334
財務キャッシュフロー	284	△4,191
有利子負債の増減額	1,190	△3,928
自己株式の増減額	△387	△16
配当金の支払金額	△519	△247
現金等期首残高	7,073	9,072
現金等期末残高	8,185	9,004



<連結> 1株当たり配当金

12/28

基準日	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (2009年4月27日発表)	0円00銭	6円00銭	6円00銭
今回修正予想		8円00銭	8円00銭
当期実績	0円00銭		
前期(FY2008)実績	6円00銭	3円00銭	9円00銭



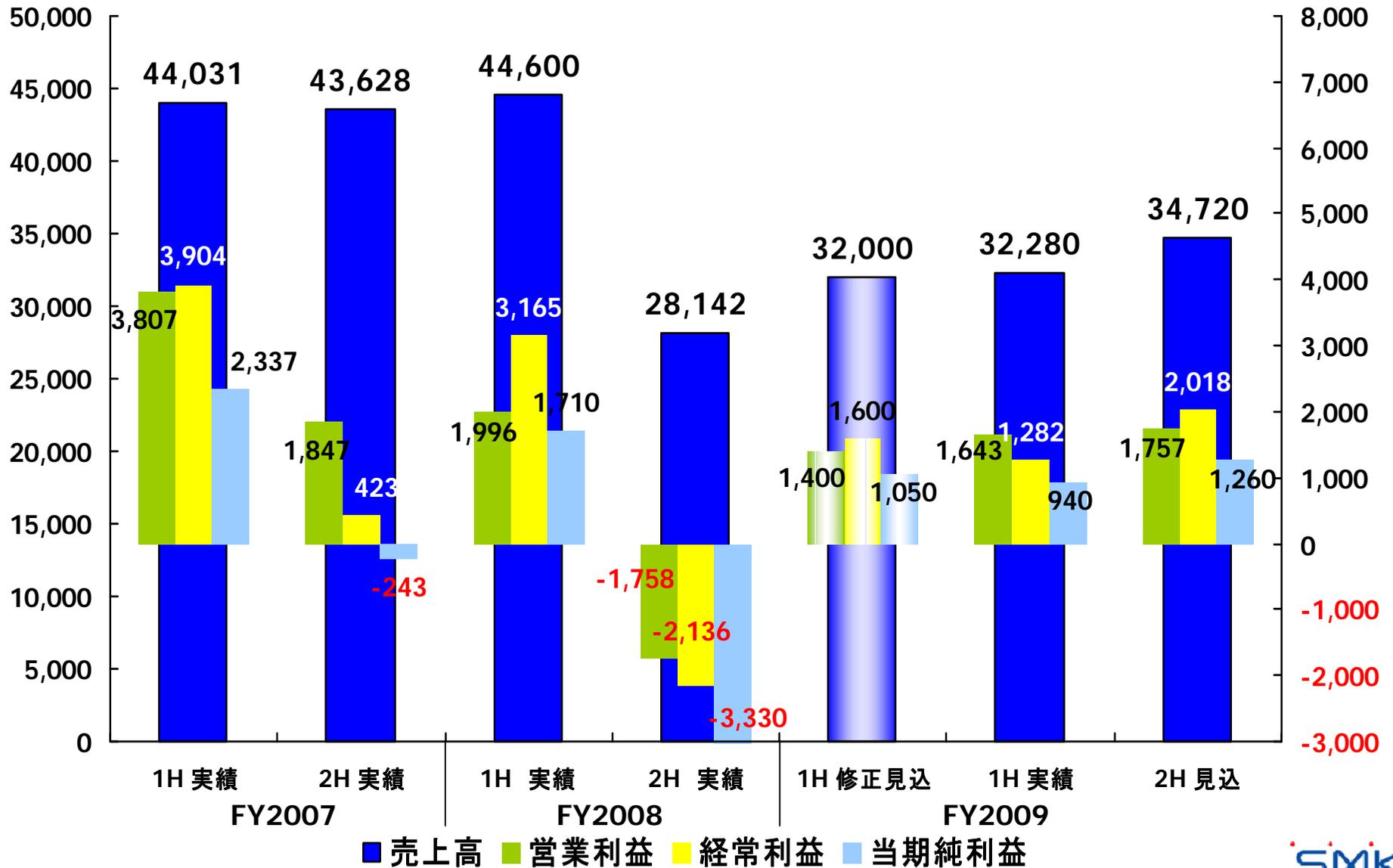
FY2009第2四半期の実績と見通し

代表取締役 社長 中村 哲也



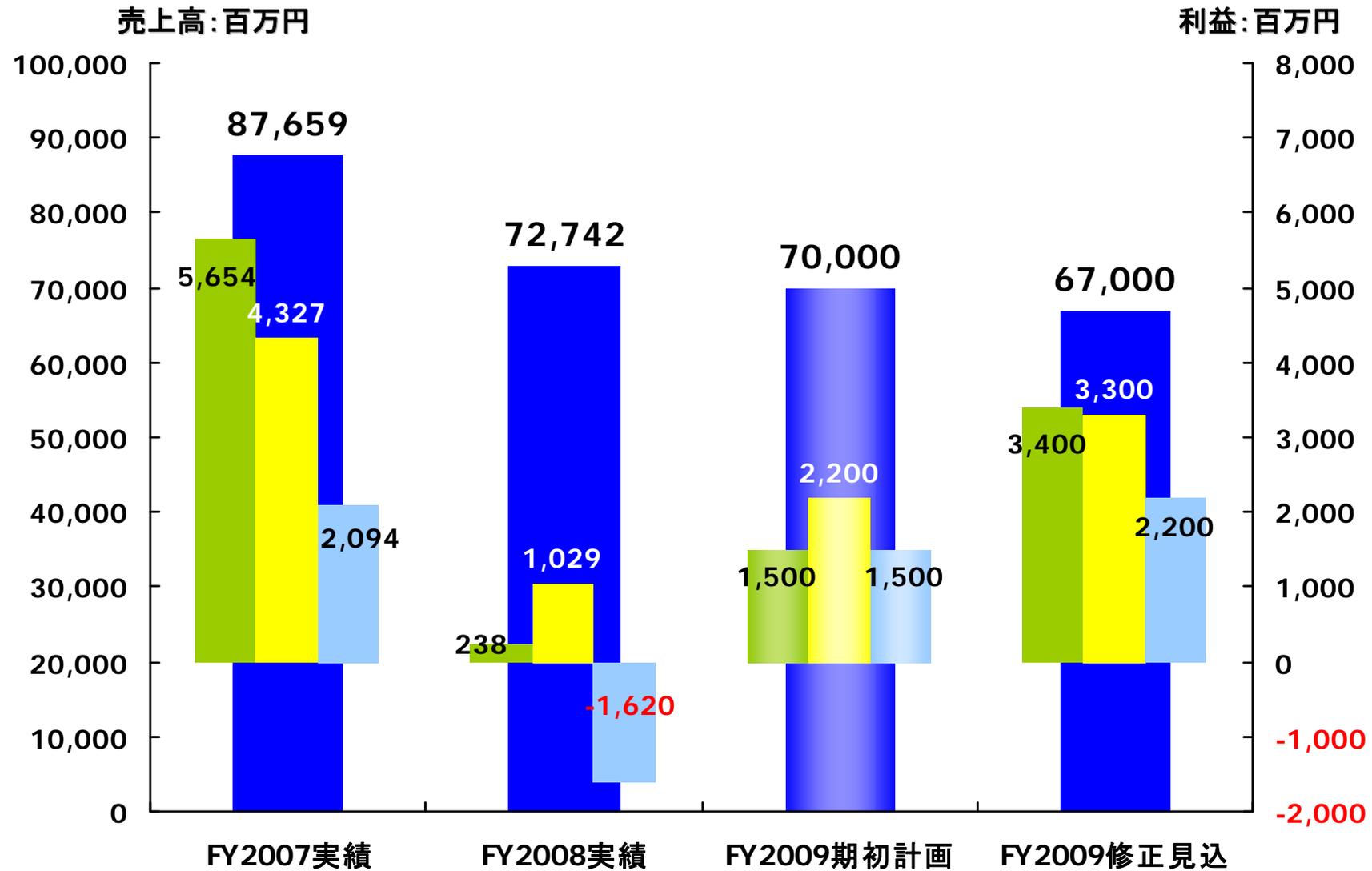
半期別 売上高、利益推移(FY2007~FY2009)

(単位:百万円)





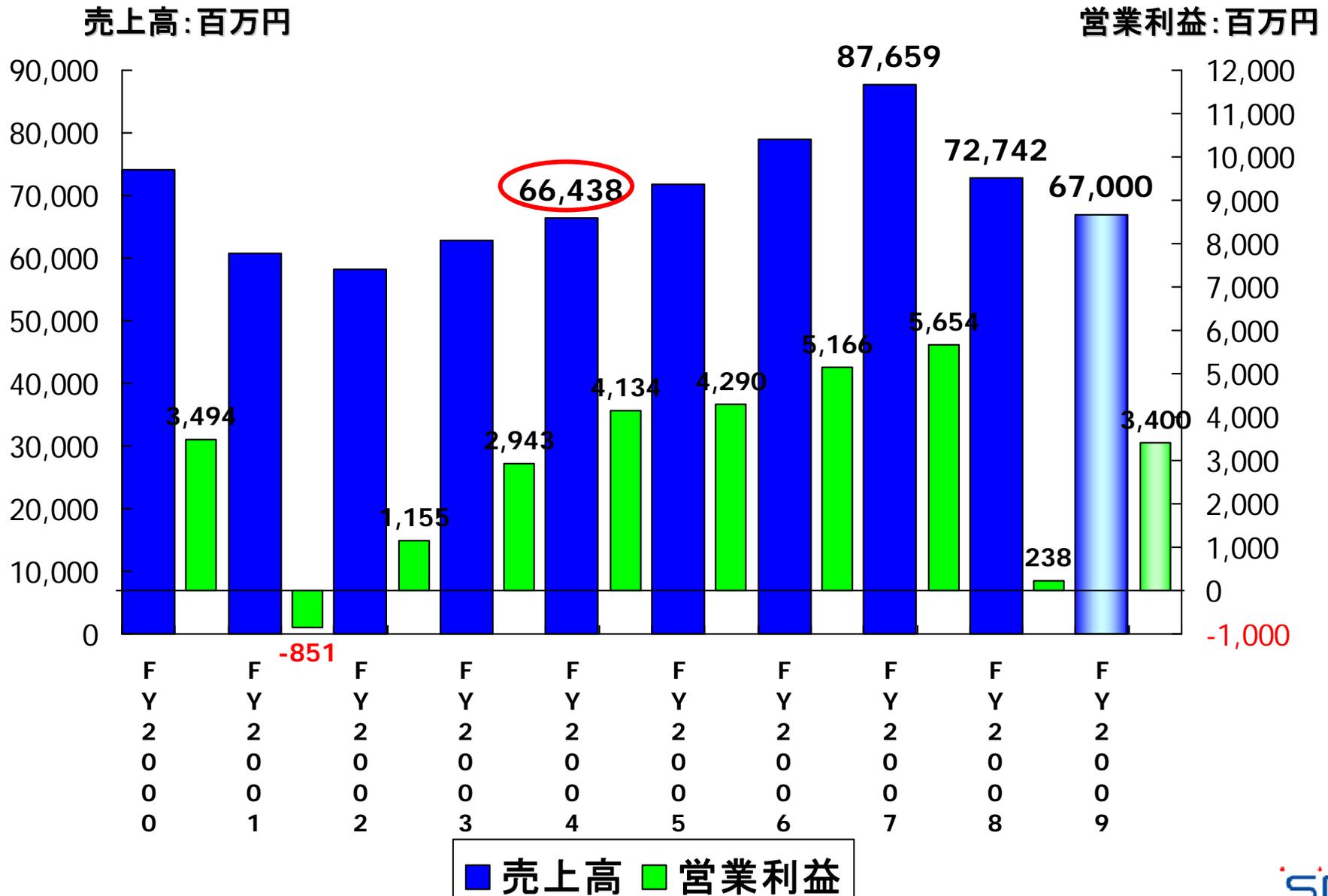
通期 売上高、利益推移(FY2007~FY2009)



■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 当期純利益

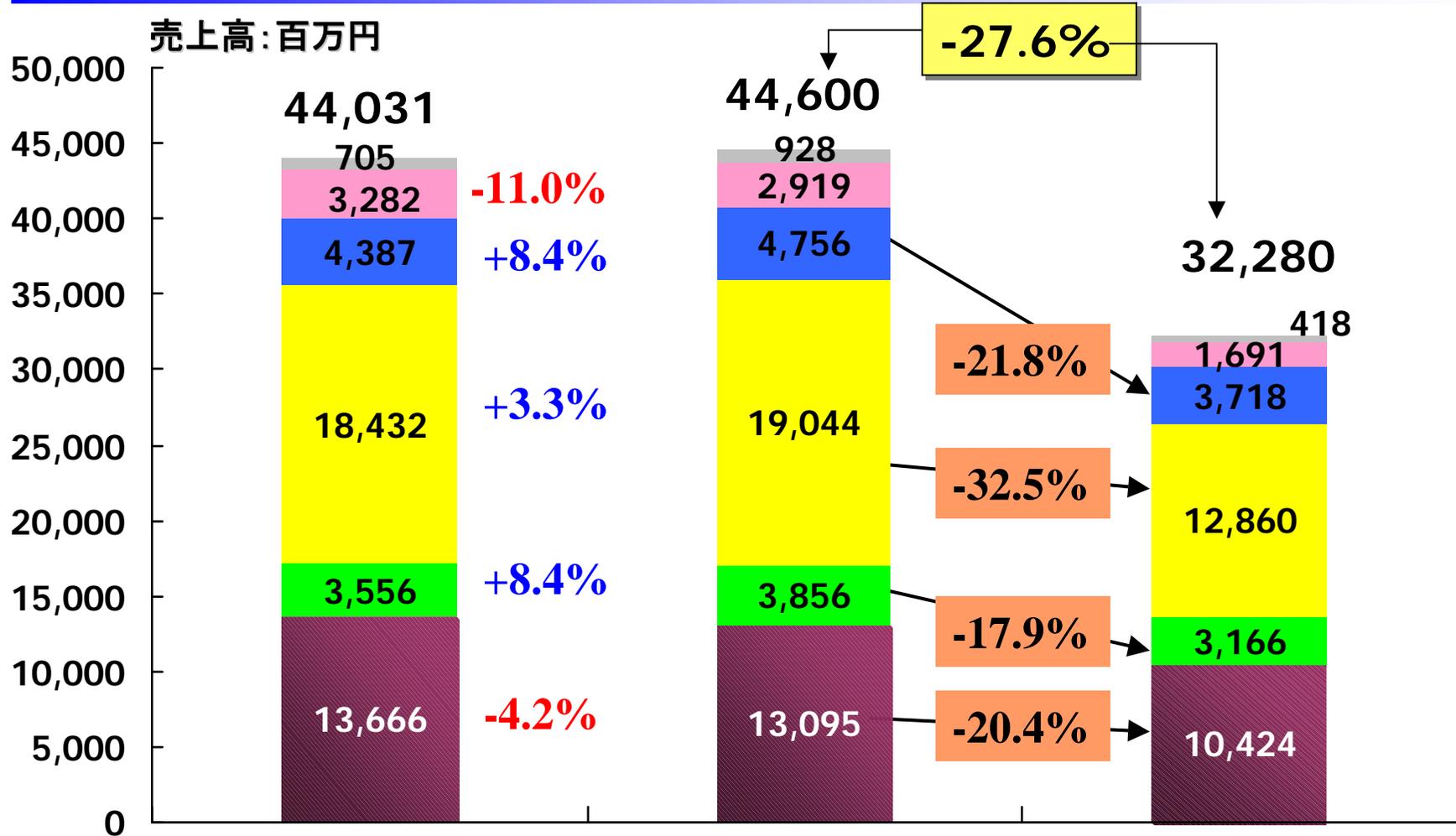


期別 売上高 & 営業利益推移 (FY2000~FY2009)





1H 市場別売上高 (FY2007 ~ FY2009)



FY2007 1H

FY2008 1H

FY2009 1H

■ 映像・音響部品

■ 電装部品

■ 通信部品

■ 情報事務機部品

■ 電子玩具・家電部品

■ その他部品

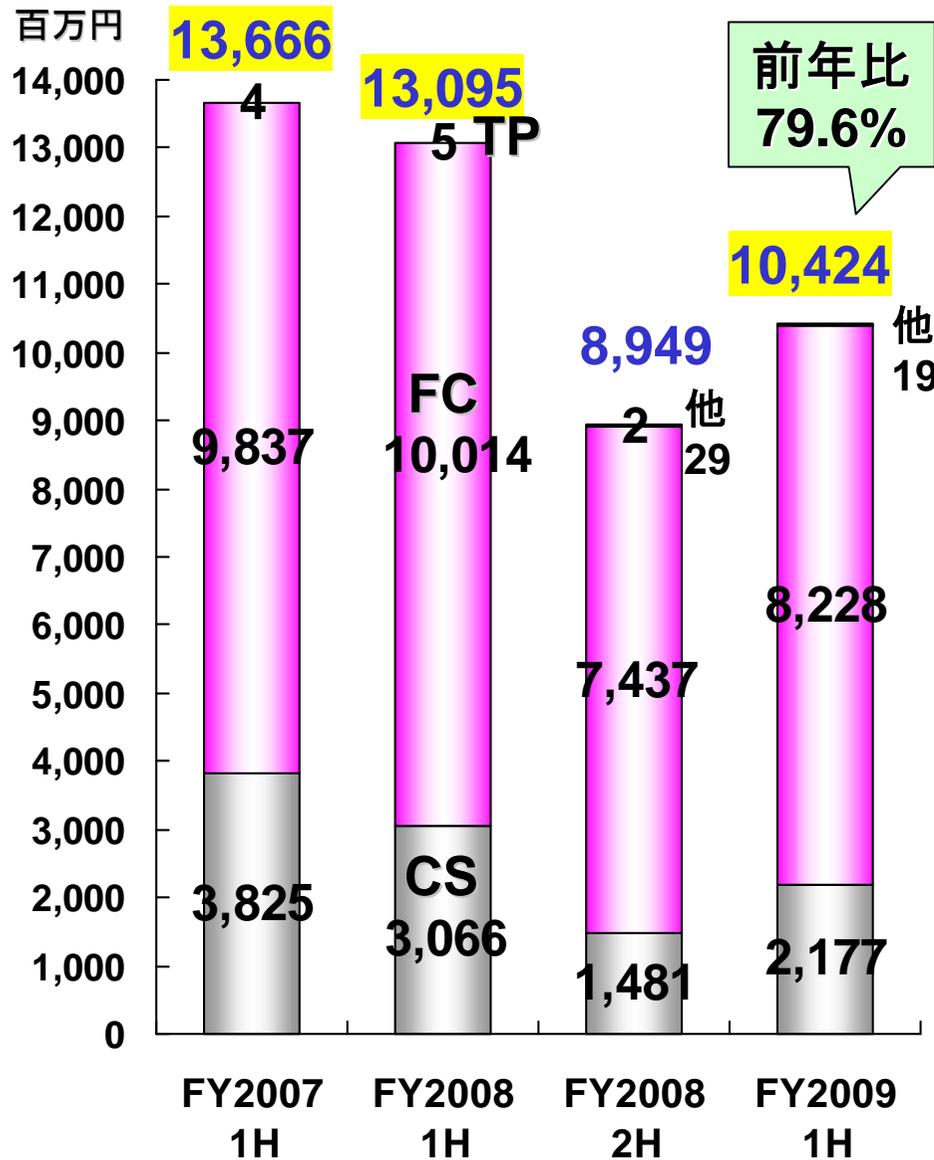




映像・音響部品市場〈1H売上〉

18/28

※コメントはFY2008 1H対比



FC (リモコン)減少

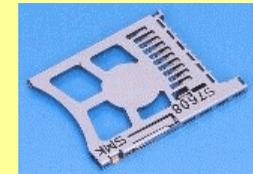
Set Top Box向け
リモコン売上減

オーディオ機器向け
リモコンの売上減

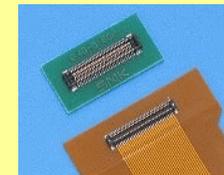


CS (コネクタ)減少

デジタルスチルカメラ
向けカードコネクタの
売上減



ポータブルオーディオ
機器向けBtoBコネクタ
の売上減

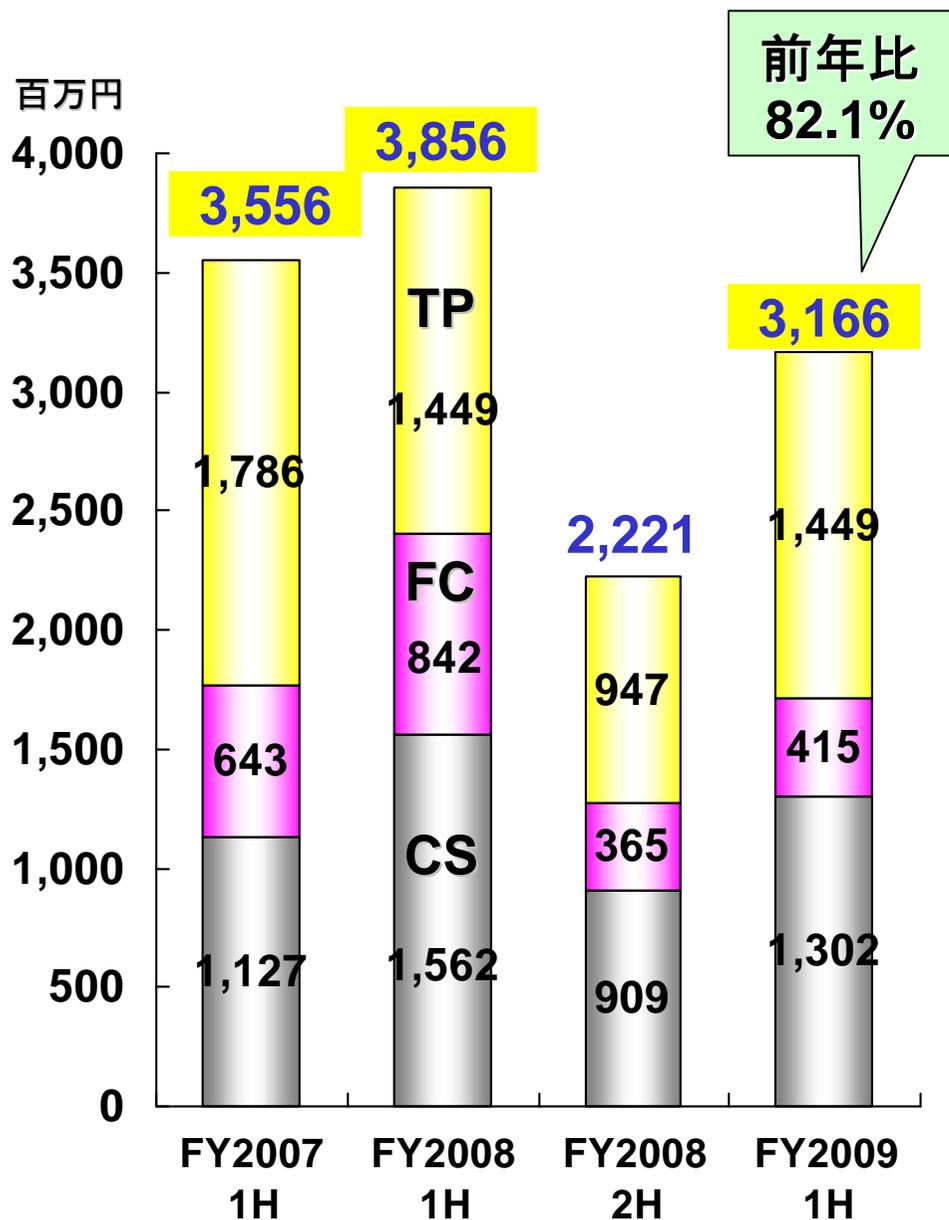




電装部品市場〈1H売上〉

19/28

※コメントはFY2008 1H対比



CS (コネクタ)減少

ETC向け同軸コネクタは好調であったが、市販カーナビ向け同軸コネクタ、カーオーディオ向けジャックの売上減



FC (リモコン)減少

カーナビ及びリアエンタテインメント向けリモコンとマイクユニットの売上減



TP (タッチパネル)

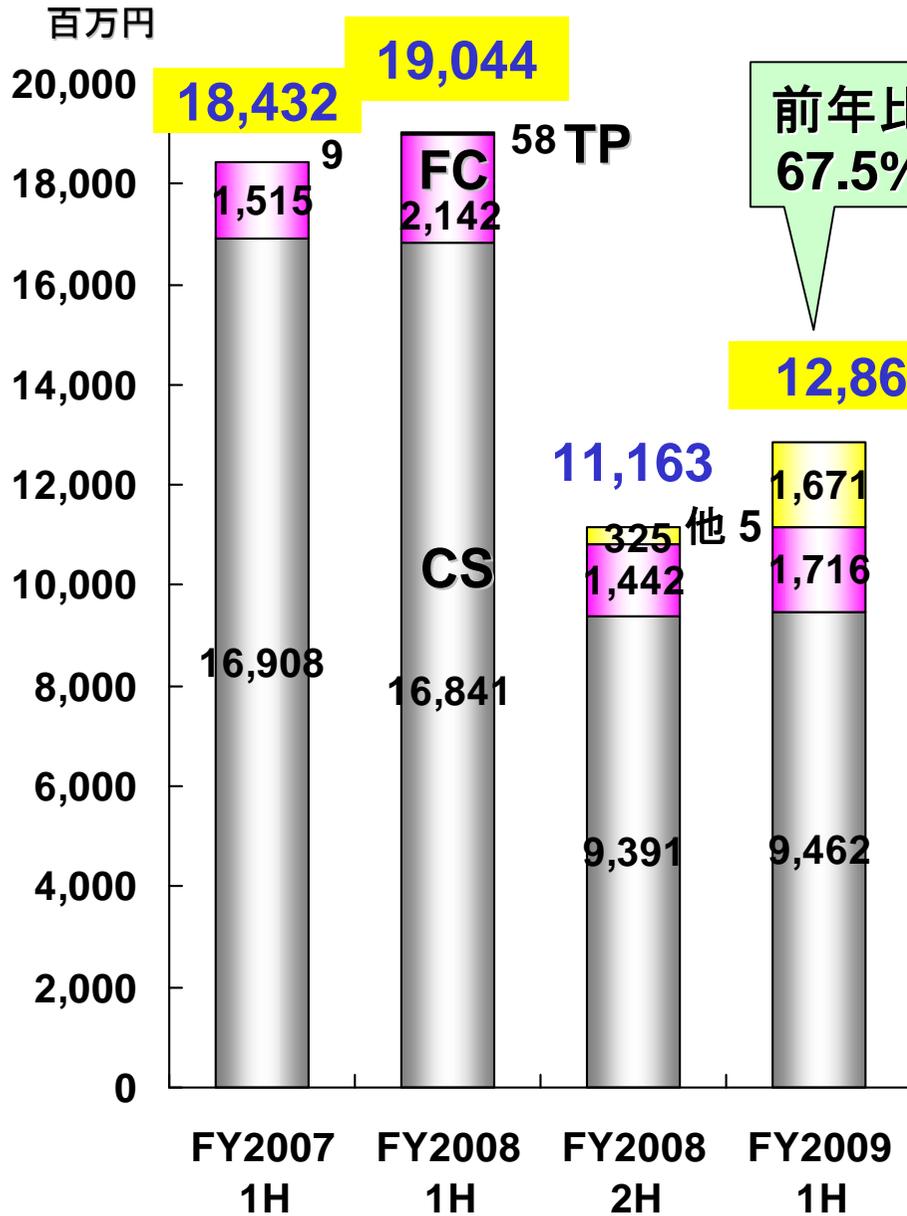
純正カーナビ向けタッチパネルの在庫調整終了による売上回復





通信部品市場〈1H売上〉

※コメントはFY2008 1H対比



TP (タッチパネル) 増加

国内携帯電話機向け
静電容量タッチパネル
売上増



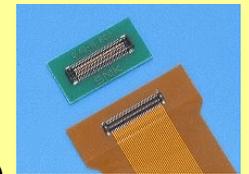
FC (ユニット) 減少

スイッチの売上が好調の一方、
オプション化(非同梱)の進行による
アクセサリ、置き台等の売上減

CS (コネクタ) 減少

海外大手得意先の生産
台数減少と競合他社との
競争激化。

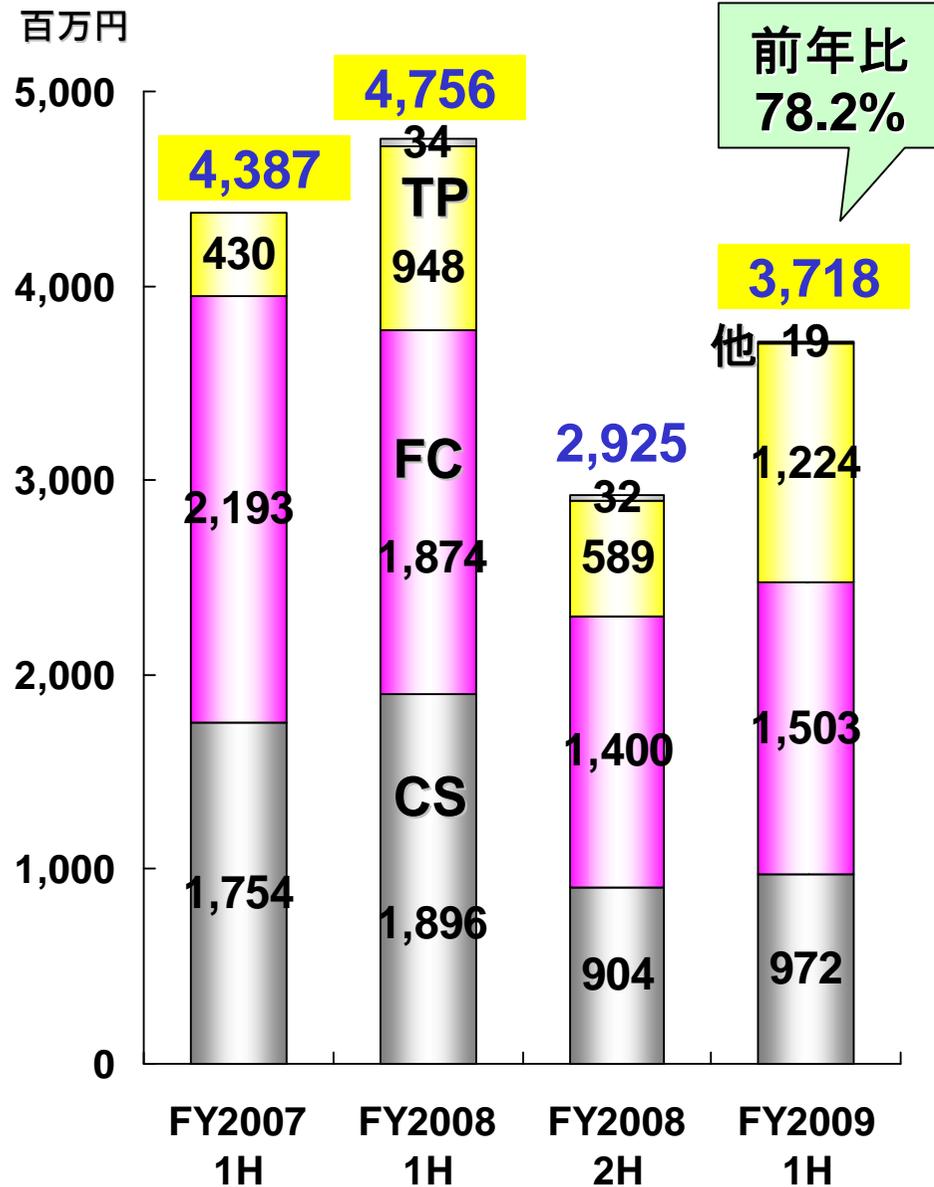
カメラコネクタ、ジャック、
BtoBコネクタ等の売上減





情報事務機部品市場〈1H売上〉

※コメントはFY2008 1H対比



TP (タッチパネル) 増加

ECR/POS向けタッチパネルの売上増



FC (リモコン) 減少

リモコン搭載ノートパソコンの不調とプロジェクターの生産台数減少によるリモコンの売上減



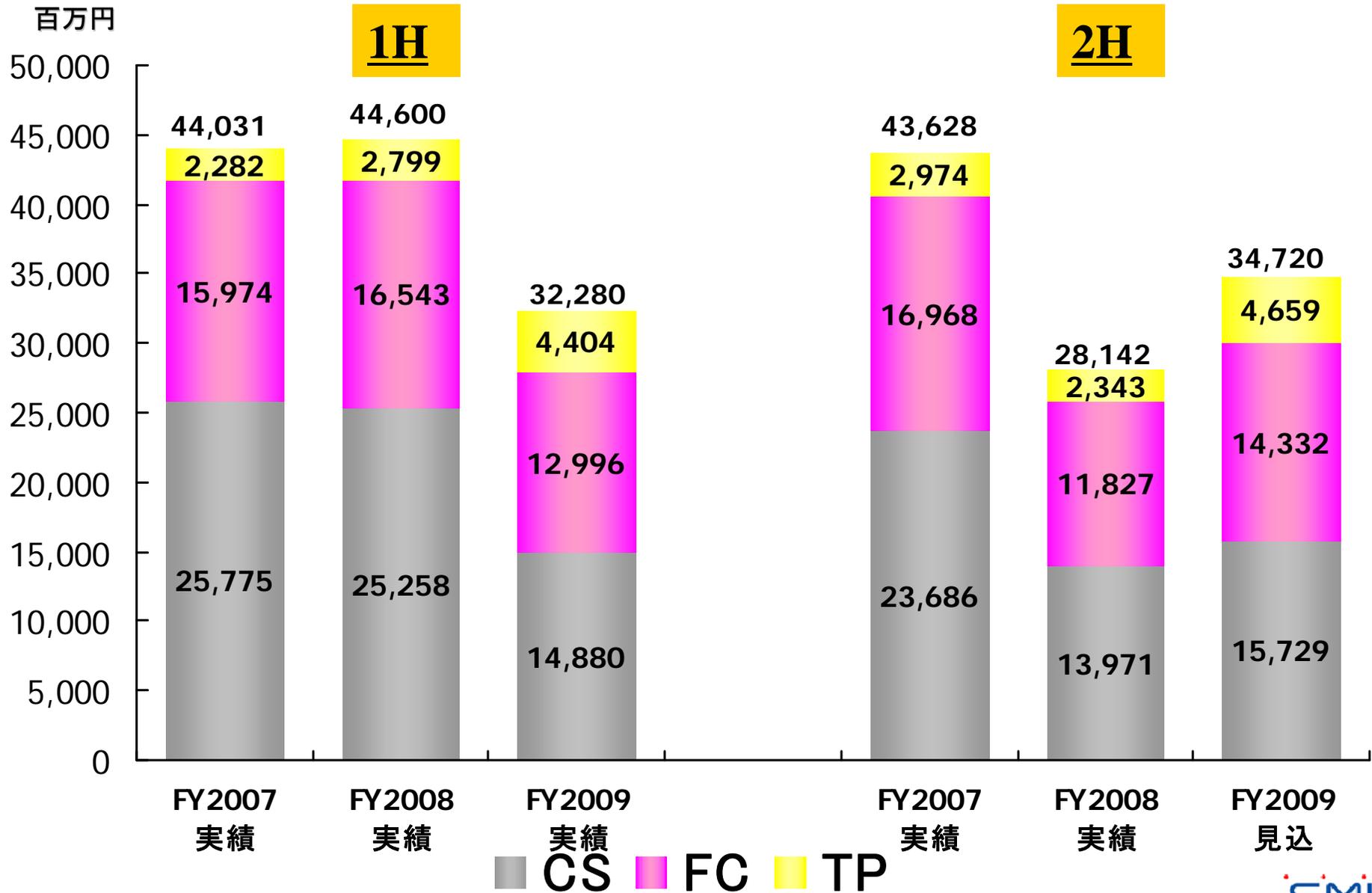
CS (コネクタ) 減少

パソコン向け電源コネクタの売上減



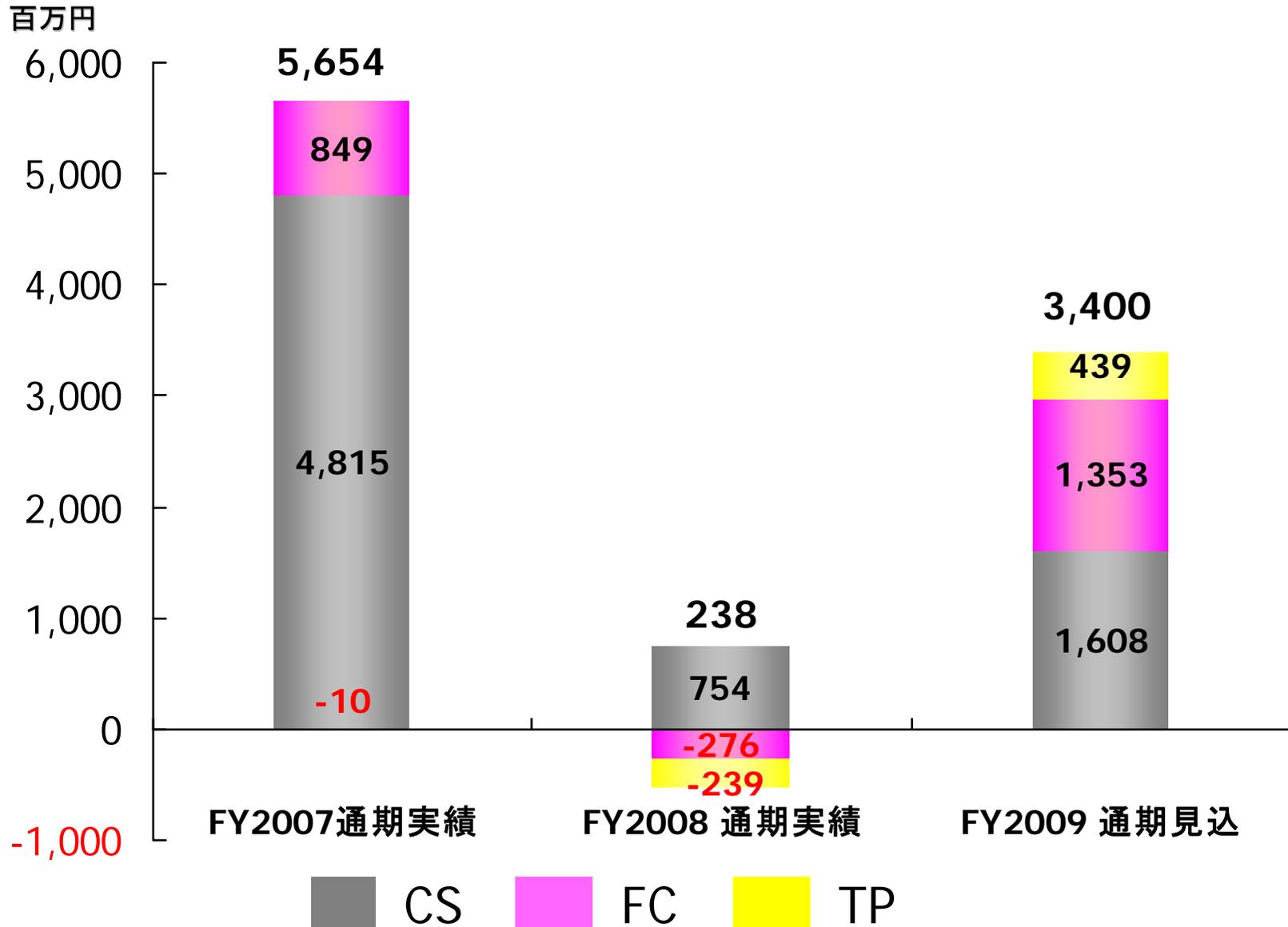


参考：事業部別売上高：1H,2H別 (FY2007～ FY2009)



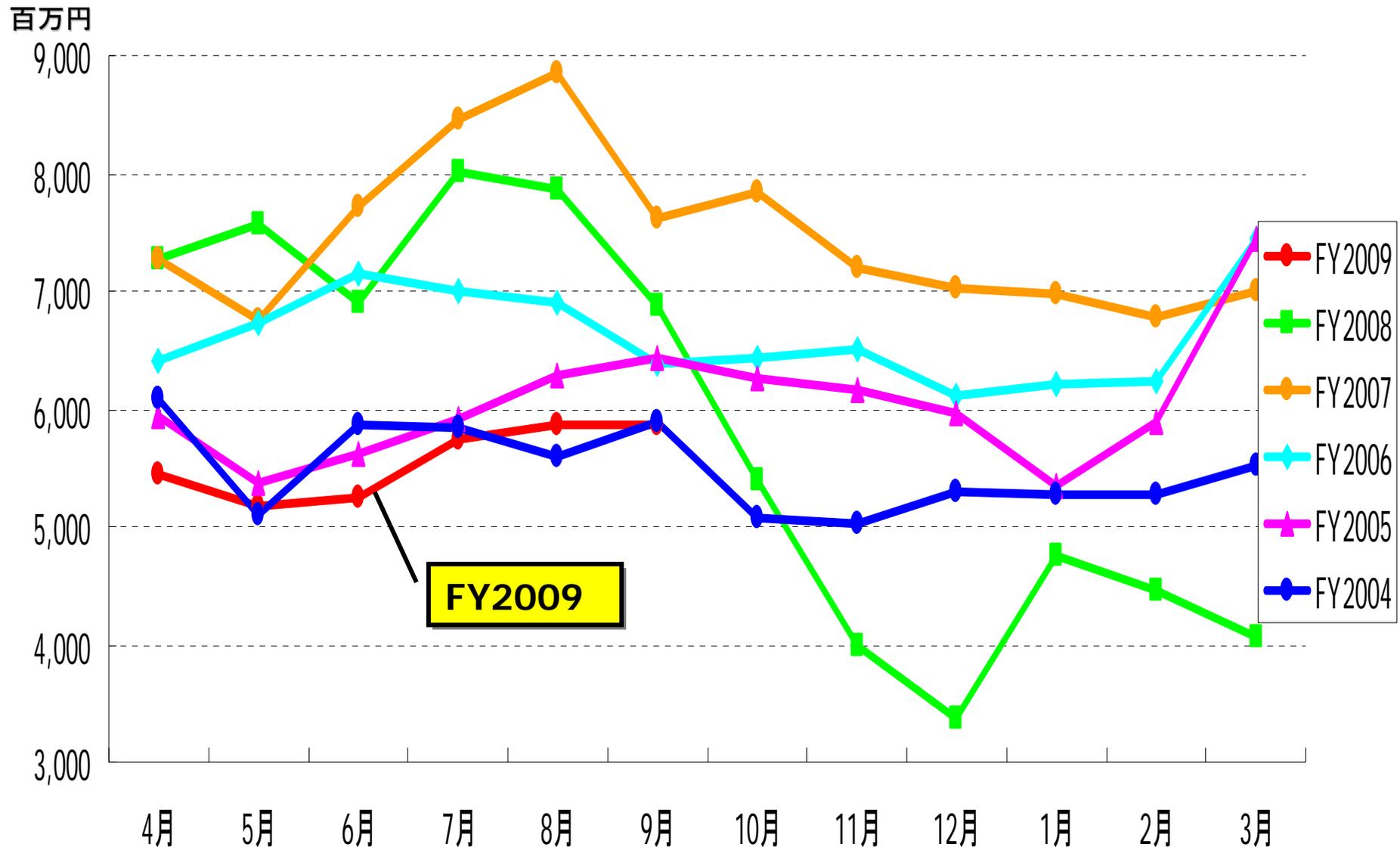


参考：事業部別営業利益 (FY2007～FY2009)





月次受注推移 (FY2004~)

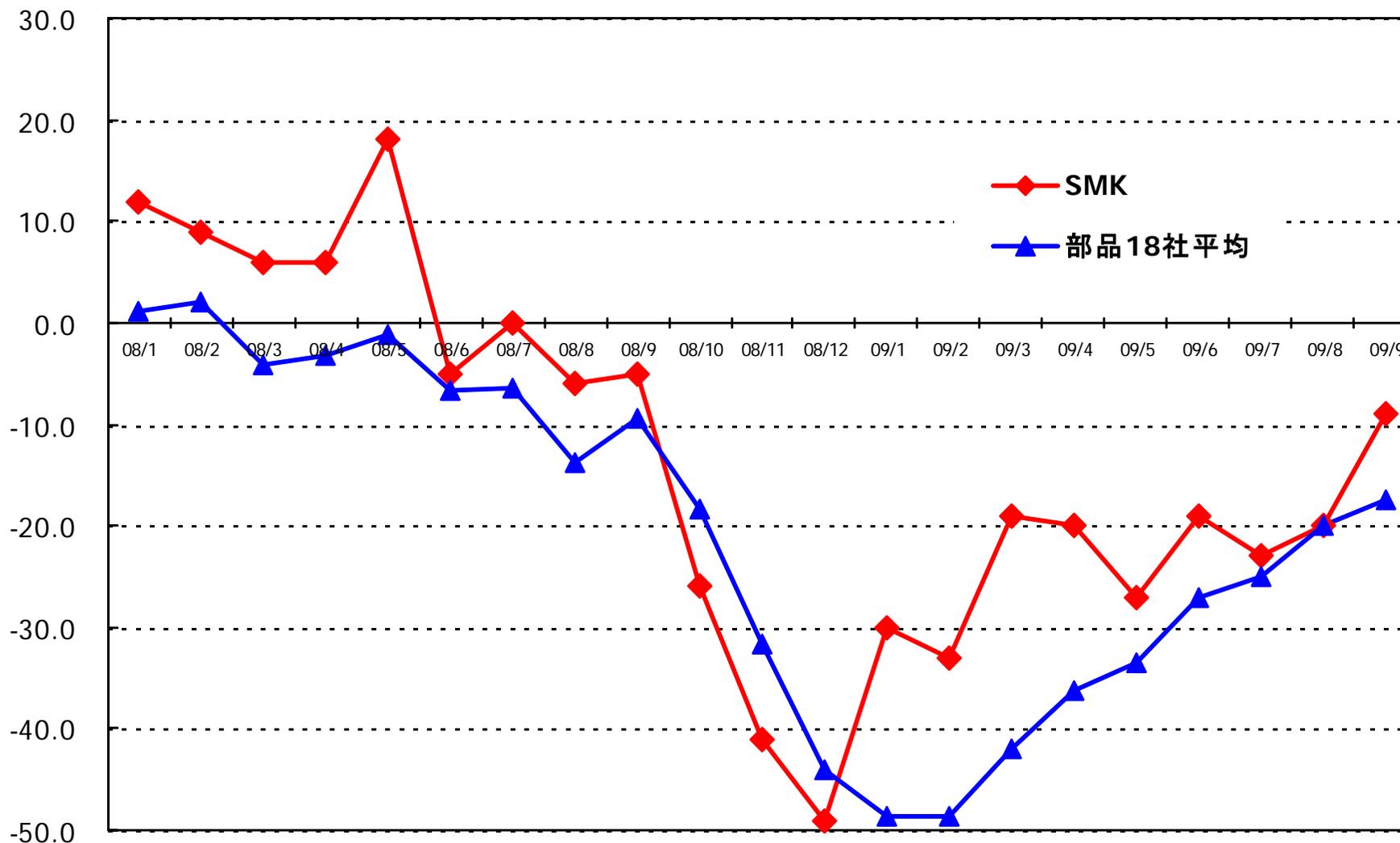




月別受注 前年比推移(電子部品18社平均)

対前年同月比(%)

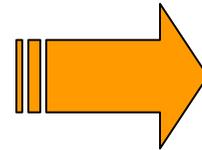
出典:大和証券SMBC 金融証券研究所





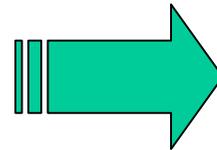
基本姿勢：適正利潤を伴った拡大路線

技術・商品開発



積極的な投資

環境ビジネス



太陽光利用

コネクター、ジャンクションボックス



わくわくする未来の創造



CEATEC JAPAN 2009に出展

27/28



2009年10月6-10日

幕張メッセ





この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別の事情の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じる可能性があります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。